業見込み者数は三万三千六百九十七人（前年度比六百九十一人減）となっています。

二、募集定員（暫定増分を含む）

課程＼年度	五三年度	前年度比較
全日制	二五、三七八人	一二一人減
定時制	八六〇人	
専攻科	四〇人	
通信制	五五〇人	

三、学級編制基準

全日制―現行どおり

ただし、南会津高校普通科は四十人、安達東高校家政科は四十人、同校岩代校舎は普通科・家政科とも二十人とする。

募集定員について記者発表する辺見教育長（○印）

〈暫定増〉

県北・県中・県南・いわきの各地区の普通科、商業科（商業）、家庭科については、暫定的に一学級につき、三名の増募をする。

定時制―現行どおり（各学科本校四十人、分校二十人）

四、分校及び定時制の廃止

課程	学校名	内容
全日制	只見つつじが丘分校	五十一年度より募集停止による
定時制	平工業	五十年度より募集停止による
	小名浜	五十年度より募集停止による

五、学校の増減及び学科の転換

(1)学級増―学級増なし

(2)学級減

課程	学校名	内容
全日制	耶麻農業	農業科一C
	坂下	普通科一C
	浪江	普通科一C

(3)学科転換

課程	学校名	内容
全日制	会津農林	農業科一Cを園芸科へ
	小高	家政科二Cを商業家庭科へ

六、学校の独立

須賀川高校長沼分校（全日制）を独立全日制高校とする。

辺見教育長養護教育を視察

県教育委員会では、五十四年度からの養護教育の義務制移行を円滑にするため、計画的に準備を進めておりますが、さる十一月三十日、辺見教育長は福島市内の養護教育施設を視察しました。これは養護教育の実情をは握するために行われたもので、福島市立福島第四小学校（精神薄弱特殊学級、ことばの教室）福島市立福島養護学校（精神薄弱養護学校）福島市立大笹生学園（大笹生小学校・信陵中学校精神薄弱特殊学級）を訪問。

各校の校長や園長から、学校の沿革や現状と問題点について報告をうけるとともに、児童生徒の授業の様子、施設設備の状況、教職員の実情等を視察しました。

大笹生学園で児童をはげます辺見教育長（右）

教職員研究論文入賞者決まる

県教育委員会では、県下小・中・養護学校教職員から、教育実践に基づく研究論文及び実践記録を募集しておりましたが、このたび、次の作品を選び去る十四日表彰式を行いました。

なお応募総数は八十二点でした。

(1)特選（四編）

伊達町立伊達小学校教諭　高島　現

。研究主題（社会）

「変遷の理解を中心とした、歴史学習のつまずきについて」

西会津町立野沢小学校教諭　佐藤紀子

。研究主題（算数）

「児童一人一人の能力を伸ばす指導をめざして」

会津若松市立謹教小学校教諭　山ノ内ワグリ

。研究主題（数字）

「数学科において指導内容の重点化と教材の精選を図り、指導法の改善を通じて基礎的・基本的内容の定着を図るにはどのようにすればよいか」

いわき市立平第五小学校教諭　木村敦子

。研究主題（体育）

「子供の創造性をひき出し、創作活動を活発にするダンス（表現）・体操指導の実践」

(2)佳作（九編）略